AUTOBACS SUPER GT
Round5 SUZUKA 450Km RACE

PLANEX CARS.
PLANEX COMM.
神奈川スバル株式会社
eau
gol.
BBS
まえだ眼科
amino VITAL アミノバイタル
FRANCK MULLER GENEVE
air-J
Djac Racing Factory
SPK
Arai HELMET
Hidecks WWW.HIDECKS.COM
RA SURTEES
999.9

<公式練習 / 11位>

週末の天候は雨予報でしたが、天候に恵まれ雨は降らず、雲は多い状態でしたが、ドライで2日間レースをすることができました。前回の優勝でサクセスウェイトも89キロ搭載しての戦いになります。また富士戦でBOPとして25キロ積まされたので、トータル1312キロ。今までで一番重たい重量で走ることになります。

練習走行、いつもと同様2セットのタイヤを確認後に、セットを詰めていきますが、ウェイトからくる感性力が大きく、中々思い通りのマシンの姿勢にならず苦戦しました。

練習走行の中で、変更出来る部分を最大限に挑戦していきましたが、セットを触った中で答えの部分が見当たらず、ロールセンターを変更して予選に挑みます。

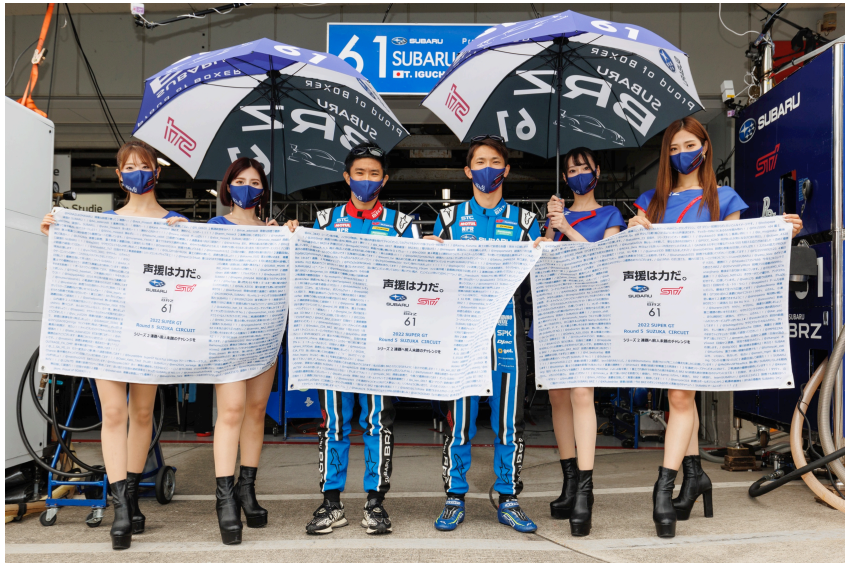
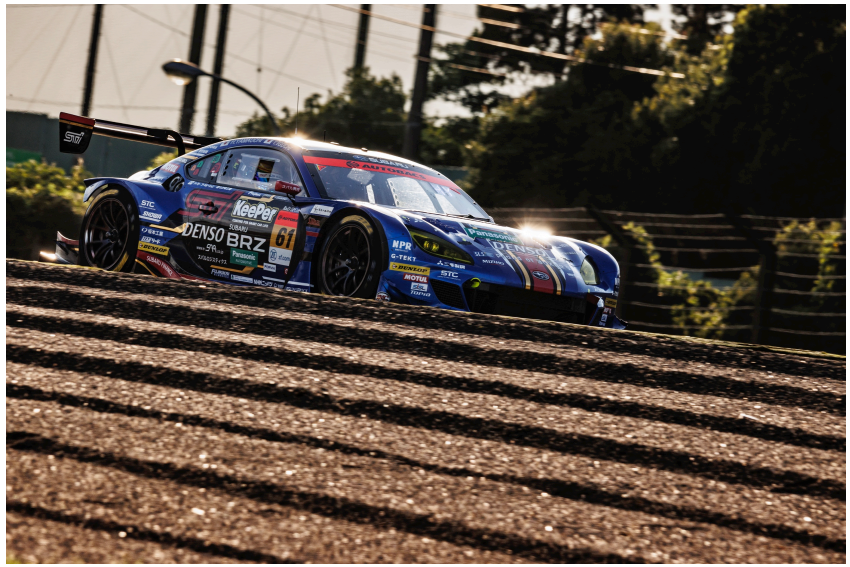
PLANEX CARS.
PLANEX COMM.
神奈川スバル株式会社
eau
gol.
BBS
まえだ眼科 eye
amino VITAL アミノバイタル
FRANCK MULLER GENEVE
air-J
MSt428
Djac Racing Factory
SPK
Arai HELMET
Hidecks WWW.HIDECKS.COM
RA SURTEES
999.9

<公式予選 / 22位>

Q1は、井口選手が担当します。タイヤも余裕が無いので、まずはQ1を通るためにも
ソフト側を選択。セット変更もウェイトからくるロールの影響を減らせるように、
前後ともにロールセンターを変更しています。この変更がどう活きるか。
井口選手がアタックに入りますが、残念ながらQ1の8台に中に入れず、
Q1を11番手でポジションを終えます。
Q1は2クラスに分かれているために、16台中8以内に入らないとQ2に進出できません。
マシンのフィーリングは、朝よりは改善されてるとのことでしたが、コンマ5秒足りずでした。
決勝は22番手からスタートとなります。

< 決勝 / 18位>

決勝前の20分のフリー走行で、井口選手と自分でタイヤを分けて走行します。ソフト側がどこまで保つかが見えないので、自分はハード側のグリップが戦える速さがあるのかを確認。昨日より路面温度が大きく上がっているため、土曜日の印象より良く、ハード側も視野に入れて戦略を考えます。今回スタートを担当するのは、井口選手。ソフトタイヤが、この高い温度でどこまで保つかが読めないために、出来るだけミニマムの22周まで引っ張ります。周りと比べてもタイムが伸び悩むので、戦略としてミニマムの22周で井口選手を入れて、自分と交代し、ハード側でトライをしていく方向にしました。残り周回数は、50周。450キロレースは、2回給油が義務付けなので、もう一度ピットに入らないといけません。予定では、半分の25周目に入る予定です。



ここで大きく流れが変わります。僕たちに取って良くない23周目にSCが入ります。
ダンロップコーナー走行中、反対側に見える130Rで大きな砂煙が見え、チームに無線で伝えます。チームもSCが出ると判断し、ピットインの指示が飛んできますが、残念ながらピットに辿り着く前に、SCボードがコース上に提示されしまい、勝負権はなくなってしまいました。（ボードが提示されるとピットに入ってはいけないルールとなっています。）
ほどんどの車両がピット義務2回を終わらせているために、僕たちにとっては不利なSCカーとなりましたが、ただ少しでも前に行けるようにSC明けにピットに入り無交換をトライ。ピット時間を短縮して前に届くかトライしましたが、全く届かず18位でレースを終えました。今回はレースウィーク中に、速さを引き出すことが出来ませんでした。
次戦までに、しっかり見直して速さを取り戻せるように頑張っていきたいと思います。
引続き、またご声援の方よろしくお願い致します。